

## 中丸地区のお祭り（7月1・2日）

1日はよみやで、トラックに乗り、中丸地区内を太鼓を叩きながら回りまわした。

僕は小学校1年生から6年間、ずっとこのお祭りで太鼓を叩いています。

2日目は子どもみこしをかついで地区内を回り、夜には再び1時間ほどトラックに乗って、太鼓を叩きました。小学生最後の中丸地区のお祭りは、いつも以上にとても楽しかったです。（山口健太）



## なぎさの祭典

（7月29日）

7月29日（土）に大磯港の駐車場で「なぎさの祭典」がありました。「なぎさの祭典」はコンサートと花火がある大磯町の夏の一大イベントです。

私は、コンサートをみるのが初めてで、音楽の音量が意外に大きくて近所めいわくにならないのか気になりました。

でも、杉山清貴さんの曲を聞いていたお父さんとお母さんはとても盛り上がっていました。

がっていました。

花火は、大きいのが打ち上がって空が割れそうでした。大磯町の花火はいつも家で見ていたからきれいに見えなかつたけれど、近くで見るとはくりよくもあつてとてもきれいでした。

「なぎさの祭典」は大勢が楽しめるイベントだからこれからも続けて欲しいです。（内海七夕美）

僕は今年もなぎさの祭典を見に行きました。今年は杉山清貴さんのコンサートがあつたけど、僕の知っていた曲は、杉山さんの前にエンレイさんが歌つた（ピンクレディーの）「UFO」だけでした。それでも僕は花火がとつても大きく、きれいだったので、来て良かったです。



会場には去年よりもたくさんのお客さんがいましたが、来年は僕も知っているスマップが来てくれたら嬉しいです。（山口健太）

このコーナーを一緒に手伝ってくれることも記者を募集しています。

◎問い合わせ 企画室 ☎内線207

## こんにちは保健師です

137

このマークは厚生労働省のホームページからダウンロードして自由に使えます。

マタニティーマークを知っていますか？



### 妊産婦さんにごつてあげたいこと

妊産婦さんが外出先で困ることの1位は「階段の上り下り」、2位は「電車で席を譲ってもらえない」、3位に「タバコの煙」となっています。反対に、嬉しかったことの1位は「電車で席を譲ってくれた」、2位は「ベビーカーを運んでくれた」、3位は「子どもに話しかけてくれた」となっています。

「妊産婦さんへ思いやりを持つ」と今年3月、厚生労働省により妊産婦さんのマークが作成されました。マタニティーマークの完成を記念し、助産師より一言。

### なぜマークができたの？

深刻な日本の少子化は現在も加速を続け、ここ30年余りで日本の合計特殊出生率は2・14から1・25まで減少し、年間の出生数は約100万人ずつ減少している計算となります。そんな中、妊産婦さんへのアンケートの結果、「社会が子育てに無関心・冷たい」と感じている方が多いことがわかりました。

諸外国の中には、「国を平和にしたいなら妊産婦を大切に」をモットーに、国民が子どもも大人もこぞって妊産婦に奉仕するという国もあります。

そこで、日本もその思いやりを妊産婦さんにと、このマタニティーマークは誕生しました。このマークを見たら、あなたの思いやりある心遣いをお願いします。

皆に大事にされた妊産婦さんは我が子にも愛情を注ぐことができ、そうして育てられた子どもは、思いやりの心を持つことができます。

他人の子ではなく、「私たち社会の大事な後継者」として、共に大事に育てる心で、思いやりのパトントリーをしましょう。

あなたも小さな心遣いから始めてみませんか。（助産師 水島）

※合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、ひとりの女性が生涯に生む子どもの数の平均

### ◎問い合わせ

子育て介護課 ☎内線308